

令和3年度第2回萩医療圏地域医療構想調整会議 議事概要

【日時】令和4年2月17日（木）19:00～20:00

【開催方法】Web開催と会場開催のハイブリッド開催

【出席者】出席者名簿のとおり

- 地域医療構想に係る国の動きや外来機能報告等について説明を行った。
- 萩市から、中核病院形成に向けた市の方針や今後の検討の進め方について説明があり、市の方針は令和2年1月の調整会議で合意された当初の方向性に合致するものであることや、中核病院の目指す基本的な方向性、経営形態、今後の検討の進め方等を確認した。

【議事内容】

1 地域医療構想に係る国の動きについて

県医療政策課から、地域医療構想に係る国の動きや外来機能報告等について説明を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見・質問等はなし

2 令和2年度病床機能報告結果について

県医療政策課から、令和2年度病床機能報告結果等について説明を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見・質問等はなし

3 基金、国庫補助金、繰入金の状況について

県医療政策課から、基金事業、国庫補助事業、令和2年度繰入金について説明を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見・質問等はなし

4 萩保健医療圏における中核病院形成に向けた取組について

萩市から、萩市民病院と都志見病院の2病院統合による中核病院形成に向けて検討を進めていくとの市の方針や今後の検討の進め方について説明を行った。

(主な意見・質問等)

<県の支援について>

- 中核病院形成に向け、萩市の財政問題が懸念されることから、県に財政的な支援をお願いしたい。
⇒ 中核病院の具体的なあり方や方向性等が明確になった段階で改めて、個別に検討を行っていく。
- 中核病院のあり方が明確になっていない現状では、検討が難しいと思う。今後、明確になり次第、検討を行っていただきたい。

<病床機能について>

- 中核病院の病床機能は急性期190床、回復期60床で仮設定されているが、萩・長門地域に高度急性期病床がないので、高度急性期病床があると良い。
⇒ 仮設定の病床数は以前の形成検討委員会で協議されたものだが、今後の検討・協議の中で機能別病床数等についても考え方を整理したい。
- 高度急性期・急性期については、救急の役割が市民に対してあまり明確になっていない。二次救急や三次救急はどこまでできるのか、市民に情報提供をしっかりとしていく中で、今後のビジョンが出てくると思う。